

新型コロナウイルスの利用者の 行動への影響について

～既存調査を用いた分析～

一般財団法人 運輸総合研究所

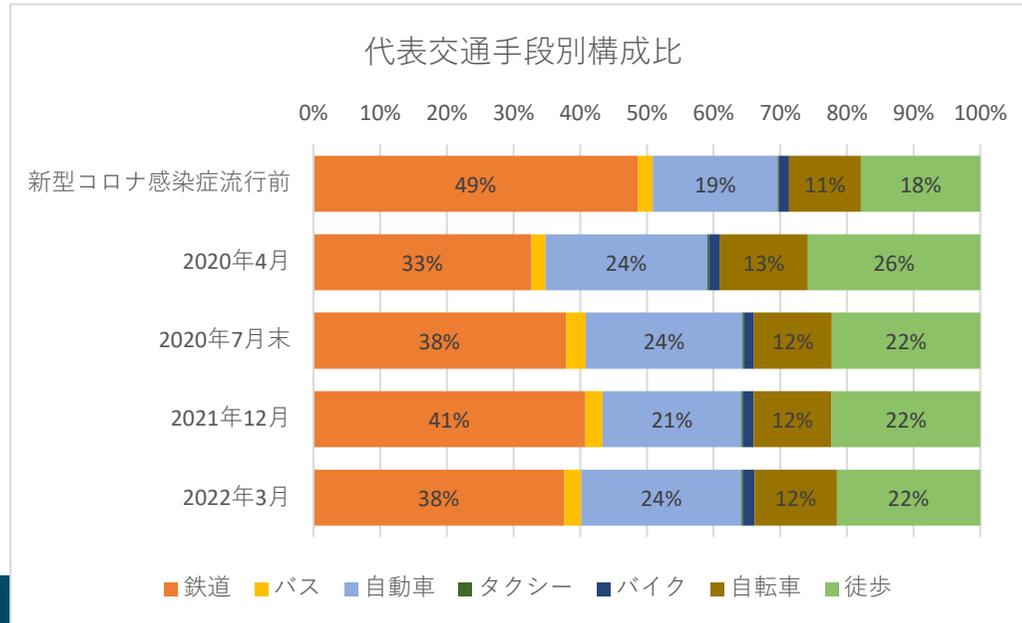
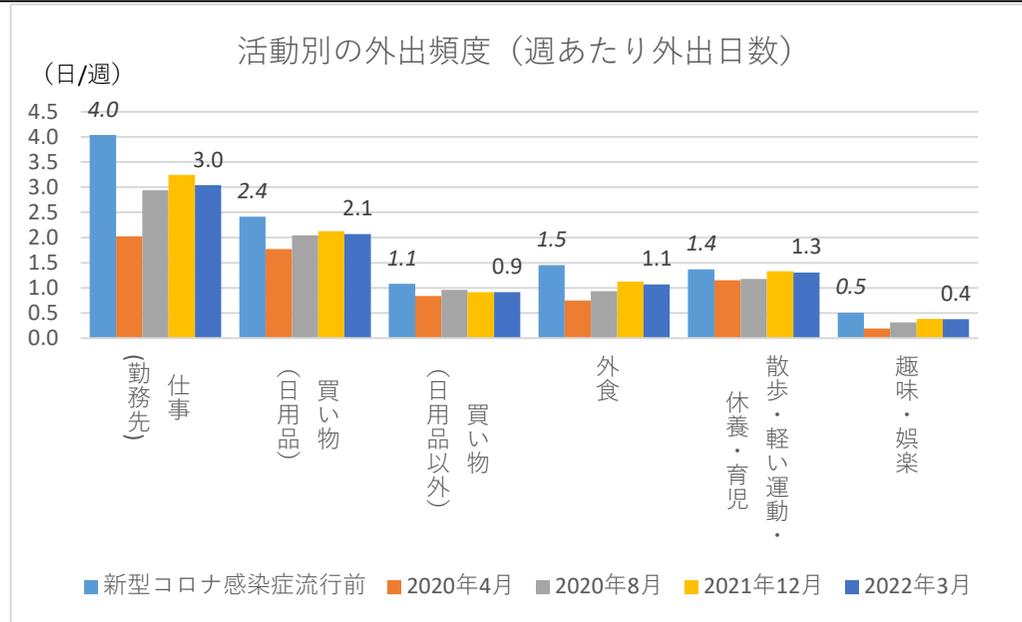
新倉 淳史

新型コロナウイルスの利用者の行動への影響について

～新型コロナ感染症の影響下における生活行動調査(国土交通省都市局)～



- 2022年3月時点では、コロナ禍前に比べて外出頻度は小さくなっている
- 勤務先での仕事は、4日から3日減少している
注)仕事をしていないサンプルも含む
- 目的によりその影響は異なる
- コロナ前に比べ、自動車、徒歩の割合が増加

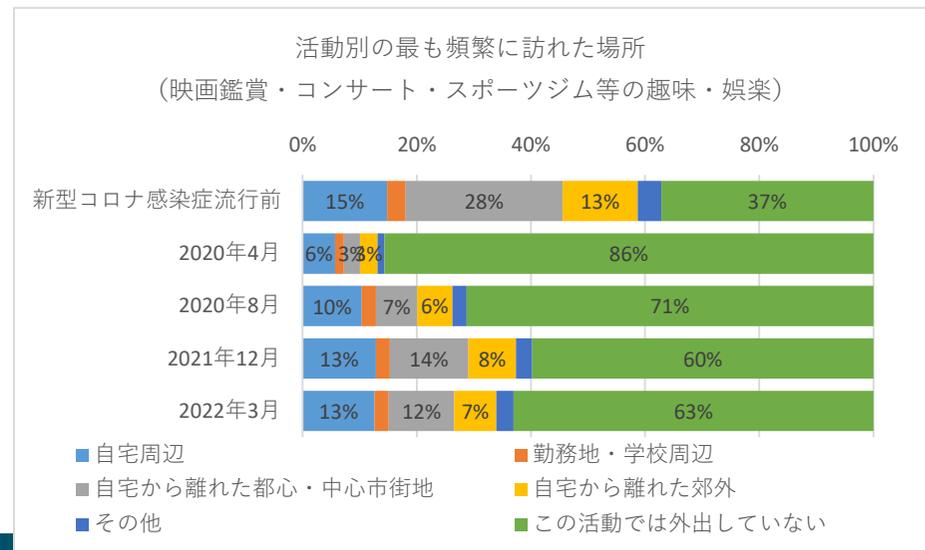
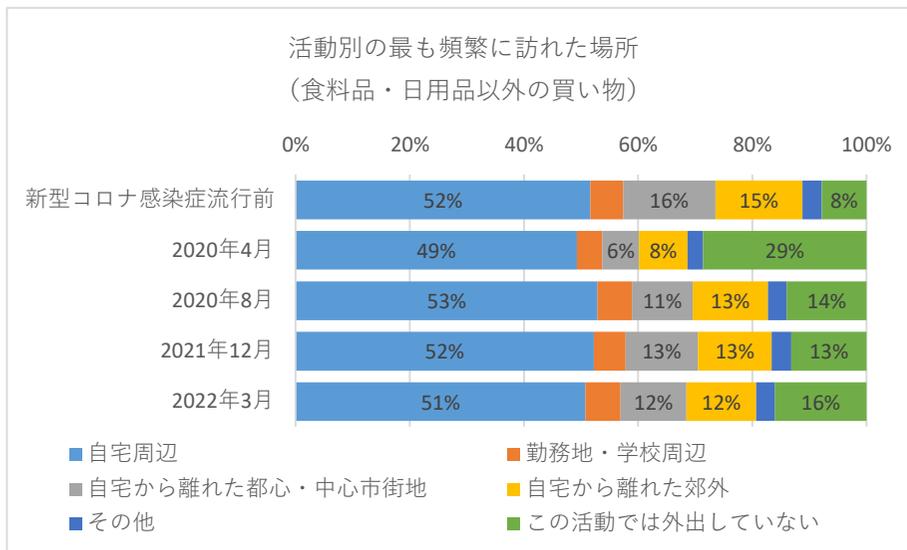
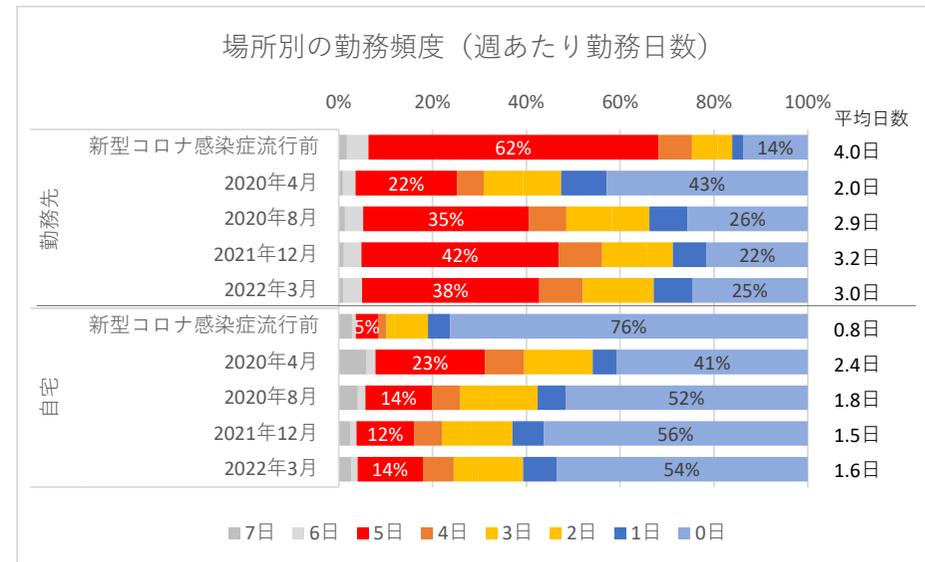


新型コロナウイルスの利用者の行動への影響について

～新型コロナ感染症の影響下における生活行動調査(国土交通省都市局)～



- 勤務形態をみると、勤務先から自宅へ変化
- 外出行動を取りやめも、見られるが、都心中心部から自宅周辺に変化
- 需要創出は、外出頻度の回復、目的地を都心に、自動車から鉄道への転換がポイント



新型コロナウイルスの利用者の行動への影響について

～新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査(内閣府)～

【1. 働き方】業種別のテレワーク実施率 (就業者)

